



上下水道局




令和6年度 重点目標

- 1 持続可能な事業運営の推進
- 2 きれいで安全な水を供給する上水道事業の推進
- 3 上水道施設の計画的な維持・更新
- 4 下水道施設の計画的な維持・更新
- 5 危機管理体制の充実




令和6年度 重点目標管理シート

重点目標	持続可能な事業運営の推進		部局名	上下水道局	優先順位	1位
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け		4 日本を代表する循環型社会をつくる	
第四次上田市行政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け			(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築			
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> 給水人口の減少や節水意識の高まり等により料金収入が減少する一方で、上下水道施設の更新や耐震化費用の増加が見込まれることから、上下水道事業を取り巻く経営環境は厳しさを増しています。こうした状況に対応するため、「水道ビジョン」、「下水道ビジョン」及び上下水道事業経営戦略を踏まえ、定期的に事業を見直しながら、健全な経営を進めていく必要があります。 熟練技術者の退職や異動により、技術力の確保と継承が難しくなっています。また、上下水道に係る専門知識に加え、公営企業職員として企業会計に対する知識の習得も求められます。 このように基盤強化が急務であり、令和6年度から上田長野地域水道事業広域化協議会において、水道事業の広域化についてより詳細な検討・協議を進めていくことになり、協議の状況等を踏まえ、上田市としての方針を決定する必要があります。 上下水道料金の収納等に関する業務は民間業者に包括委託していますが、引き続き収納率の向上に努める必要があります。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ビジョンや経営戦略に沿って事業を推進することで、財源とバランスのとれた投資を行うことが可能になります。 外部研修受講や資格取得の奨励を促進し、次の世代につなげる人材育成を図ります。 上田長野地域水道事業広域化協議会に参加し、水道事業の広域化の検討、協議を進め、持続可能な事業運営方法を検討します。 		該当するSDGsの目標	 		
取組項目及び方法・手段（何をどのように）		期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○水道事業広域化の検討 (1) 上田長野地域水道事業広域化協議会での協議 (2) 広域連携に関する調整会議への参加 (3) 上下水道審議会での審議、答申及び庁内検討 (4) 広報掲載、住民説明会等の開催	(1)～(4) 4月～3月	(1) 協議会への参加、検討、協議 (2) 運営会議、専門部会への参加 (3) 市としての方針決定 (4) 市民への周知			
②	○経営戦略改定・料金算定 (1) 水道及び下水道に係る経営戦略の改定 (2) 令和7年度からの上下水道料金改定について審議会に諮問、答申	(1)(2) 4月～3月	(1) 経営戦略の改定 (2) 料金算定			
③	○人材の育成 継続的な外部研修の受講促進や資格取得の奨励による人材育成の実施	4月～3月	外部研修・資格取得研修受講 ・事務系講習会 延べ12人 ・上下水道技術関係 延べ25人 ・作業資格取得講習会 延べ10人			
④	○収納率の向上 水道料金・下水道使用料（現年度分）	4月～3月	収納率 水道 99.56%以上 下水道 99.45%以上			
⑤	○水洗化の促進 公共下水道地域、農業集落排水事業地域の戸別訪問等による水洗化促進の実施	4月～3月	新規接続戸数 750戸			
⑤	○下水道の基盤強化の検討 局内及び上田長野地域水道事業広域化協議会での研究	4月～3月	連携方法等の研究			
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題		




令和6年度 重点目標管理シート

重点目標	きれいで安全な水を供給する上水道事業の推進		部局名	上下水道局	優先順位	2位
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け		4 日本を代表する循環型社会をつくる	
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・上水道の水源は、河川の表流水、ダム水、地下水、湧水など28箇所あります。このうち、湧水水源の一部には、降雨時における濁質やクリプト汚染等による影響により、水質が不安定になることから、この対策が急務となっています。このような湧水水源に対しては、この上流域で水質が安定し水量が豊富な湧水水源による給水に切り替えを進めているところですが、これらの水源の有効活用により維持管理の軽減化が求められています。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した湧水の活用を行うことにより、気象の影響を受けやすい湧水水源の代替や、配水系統間の相互融通や水運用の改善が図られ、より良質で経済的な水の供給が可能となります。 ・安全安心な水道を将来に渡って維持し、持続的な水道水の供給を確保するため、水質管理体制の強化を図ります。 		該当するSDGsの目標	  		
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び （中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○水源の安全性向上 (1) 水源の確保 (2) 水源の水質検査強化	4月～3月	(1) 岩清水配水池流入流量計設置 (2) クリプトスポリジウム検査 12箇所 21検体 指標菌検査 22箇所 96検体			
②	○水質監視体制の強化 検査及び管理機器更新	4月～3月	水質検査機器更新 蒸留水製造装置 クリーンベンチ 水質計器更新 染屋第4配水池残留塩素計 腰越浄水場水質計器			
③	○地下水源の運用拡大整備事業の推進 滝の入水源を活用した新たな導・配水施設の整備	4月～3月	滝の入水源整備における各種団体との協議調整、工事発注準備			
④						
⑤						
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題		



令和6年度 重点目標管理シート

重点目標		上水道施設の計画的な維持・更新		部局名	上下水道局	優先順位	3位
総合計画における位置付け		第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け		4 日本を代表する循環型社会をつくる	
第四次上田市行政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築					
現況・課題	<p>・上水道の施設及び管路は老朽化が進行し、特に1980年から2000年の敷設ピーク時の管路が今後、更新時期を迎えることになるため、法定耐用年数（40年）を超過した老朽管が年々増加していきます。また、耐震化率が低い水準にあることから、大規模地震が発生した場合、水道水を供給する機能が多くの損なわれる可能性があることから、老朽施設の更新や耐震化を早急に進めて行く必要があります。</p>						
目的・効果	<p>・老朽化した水道施設や管路の更新及び耐震化は、市民生活に欠くことのできないライフラインである上水道の強靱化を進めるために必要不可欠な事業であり、施設の更新に当たっては、アセットマネジメントによる更新需要と中長期的な財政推計を踏まえながら、計画的に進めてまいります。また、上水道管路の計画的更新や耐震化は、日常の管破裂や漏水などの減少につながることから、有収率の向上が期待できます。</p>			該当するSDGsの目標	  		
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び （中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○上水道基幹管路の耐震化及び経年管の更新、有収率の向上	4月～3月	更新延長 L=1.3km 有収率 85%				
②	○計画的な水道施設整備の推進 (1) 更新・新設 (2) 耐震工事	4月～3月	(1) 染屋急傾斜地管路更新 1箇所 北部配水池系減圧弁設置 1箇所 (2) 染屋6号ろ過池耐震補強 1箇所				
③	○ポンプ設備等の更新	4月～3月	ポンプ設備等の更新 上田地域 3箇所 丸子地域 3箇所				
④	○浄水場等設備更新 浄水機器更新	4月～3月	浄水場施設機器更新 上田地域 2箇所 丸子地域 2箇所				
⑤							
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題			

令和6年度 重点目標管理シート

重点目標	下水道施設の計画的な維持・更新	部局名	上下水道局	優先順位	4位
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続	上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	4 日本を代表する循環型社会をつくる		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築				
現況・課題	<p>・下水道が建設から維持管理の時代に移行していく中、施設の老朽化が課題となっており、老朽化が進む施設の計画的な更新を図るため、下水道施設長寿命化計画及び後継計画であるストックマネジメント計画を策定し事業を実施しています。今後は、安定した下水処理を維持するため、長期的な計画に基づいた施設の更新を実施していく必要があります。</p> <p>・人口の減少や少子高齢化の進展、省エネルギー化など、社会情勢の変化に伴い、市民のライフスタイルも大きく変わる中、下水道事業も建設から維持管理へと大きく役割が変わってきており、維持管理の効率化を図る必要があります。</p> <p>・下水道施設の維持管理の効率化を更に図る上で、公共下水道施設への接続が有利と思われる農業集落排水施設については、公共下水道との統合についても検討が必要です。</p>				
目的・効果	<p>・安定した下水処理を確保するため、下水道施設長寿命化計画及びストックマネジメント計画による施設の更新を図ります。</p> <p>・社会情勢の変化に対応した効率的な施設の維持管理を図るため、農業集落排水施設と公共下水道施設の統合計画を進めます。</p>	該当するSDGsの目標			
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
①	<p>○し尿前処理下水道投入施設の建設</p> <p>(1) 土木・建築工事 (R5-R7債務負担)</p> <p>(2) 機械・電気工事 (R6-R7債務負担)</p>	4月～3月	<p>(1) 土木・建築工事の実施</p> <p>(2) 機械・電気工事の実施</p>		
②	<p>○長寿命化事業・ストックマネジメント事業及び耐震化事業の実施</p> <p>(1) 南部終末処理場ほか3箇所 設備更新工事 (R5-R6債務負担)</p> <p>(2) 南部終末処理場 設備更新工事 (R6-R7債務負担)</p> <p>(3) 南部終末処理場耐震化工事</p> <p>(4) 上塩尻ポンプ場、神川東ポンプ場 圧送管二条化工事</p> <p>(5) 鉄蓋更新工事等</p>	4月～3月	<p>(1) 工事の実施・完成</p> <p>(2) 協定の締結、工事の実施</p> <p>(3) 協定の締結、工事の実施</p> <p>(4) 工事の実施・完成</p> <p>(5) 鉄蓋更新工事 西内工区 N=53枚 管渠更生工事 下長瀬地区 L=18.61m、 西内工区 L=158.6m 管口耐震化工事 西内工区 N=8箇所</p>		
③	<p>○農業集落排水施設統合事業の推進</p> <p>(1) 豊殿南部地区⇒林之郷地区</p> <p>(2) 山田地区⇒八木沢地区</p>	4月～3月	<p>(1) 工事の実施</p> <p>(2) 財産処分申請の提出</p>		
④	<p>○農業集落排水施設の機能強化事業の実施</p> <p>(1) 富士山処理場の機能強化工事 (R5-R6債務負担)</p> <p>(2) 武石処理場の機能強化工事 (R6-R7債務負担)</p>	4月～3月	<p>(1) 工事の実施・完成</p> <p>(2) 工事の実施</p>		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題	

令和6年度 重点目標管理シート

重点目標	危機管理体制の充実	部局名	上下水道局	優先順位	5位
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続	上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	4 日本を代表する循環型社会をつくる		
第四次上田市行政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築			
現況・課題	・上下水道建設から維持に携わってきた熟練技術者の退職や職員異動等により、災害時に迅速に対応できる技術の確保が課題となっています。大規模災害などに備え、災害時の応急給水活動体制など、ソフト面での対応が必要です。				
目的・効果	・施設の更新や耐震化は限られた財源の中で進めて行くことから長い期間を要します。しかし、自然災害はいつ発生するかかわからず、施設の耐震化が不完全なうちに起ることも想定されます。そのため、災害が発生した際の復旧体制や応急対策を整えておくことは、迅速な災害復旧対応に繋がります。	該当するSDGsの目標			
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
①	○防災訓練の実施 防災訓練の実施による危機管理対応能力の向上	4月～3月	応急給水訓練 2回 緊急連絡管操作訓練等（県営水道、東御市、長和町、青木村）各1回 灯油等流入事故対応訓練 1回 他水道事業者との合同訓練 1回		
②	○災害時等、緊急時の体制整備 (1) 危機管理マニュアル整備 (2) 緊急連絡管の整備	4月～3月	危機管理マニュアルの見直し 東御市との緊急連絡管接続工事 L=70m（神の倉）		
③					
④					
⑤					
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題	